

大学番号：私344

注3

[平成26年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

比治山大学 健康栄養学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 比治山学園
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学長室
職名・氏名	和田 章子
電話番号	082-229-8609
（夜間）	082-229-0121
F A X	082-229-5100
e-mail	gakucho@hijiyama-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学新設の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

健康栄養学部

<管理栄養学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	29

添付資料

別紙

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 比治山学園

(2) 大学名 比治山大学

(3) 大学の位置

〒732-8509
広島県広島市東区牛田新町4丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(マドコロ サトシ) 間所 了 (平成18年4月)		
学長	(ニノミヤ アキラ) 二宮 皓 (平成25年4月)		
学部長	(オダ ミツコ) 小田 光子 (平成26年4月)		
学科長等		(マエオオミチ ノリコ) 前大道 教子 (平成26年4月)	平成26年4月1日 学科主任任用 (26)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
平成28年度に報告する内容 → (28)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康栄養学部 管理栄養学科 学士(栄養学)	4年	70人	3年次 5人	290人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	70人 () [-]	一人 () [-]	70人 () [-]	一人 () [-]	70人 (5) [-]	一人 () [-]	人 () []	人 () []	0.97倍	
志願者数	104 () [-]	— () [-]	196 () [-]	— () [-]	186 (5) [-]	— () [-]	() () []	() () []		
受験者数	103 () [-]	— () [-]	192 () [-]	— () [-]	184 (5) [-]	— () [-]	() () []	() () []		
合格者数	97 () [-]	— () [-]	126 () [-]	— () [-]	125 (3) [-]	— () [-]	() () []	() () []		
B 入学者数	54 () [-]	— () [-]	78 () [-]	— () [-]	74 (3) [-]	— () [-]	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	0.77		1.11		1.05					

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 54	[-] (-) —	[-] (-) 78	[-] (-) —	[-] (-) 74	[-] (-) —	[] ()	[] ()	内3人は編入学
2年次	/		[-] (-) 53	[-] (-) —	[-] (-) 78	[-] (-) —	[] ()	[] ()	
3年次			[-] (-) 54	[-] (-) —	[] ()	[] ()			
4年次			[] ()	[] ()					
計			[-] (-) 54	[-] (-) 131	[-] (-) 206	[] ()			

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	54 人	3 人	平成26年度	1 人	0 人	一身上の都合(1人)	5.6 %
			平成27年度	2 人	0 人	一身上の都合(1人), 進路変更(1人)	
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	78 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	74 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
合 計	206 人	3 人					1.5 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<健康栄養学部 管理栄養学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手						
共通教育科目	スタートアップ	初年次セミナーⅠ	1前	2			3	2 1 2	2				杉田郁代准教授退職のため他の専任のみで実施、後任未定、専任教員採用予定で公募中(27) 杉田郁代准教授辞任により、教員追加(28) 担当 川人潤子(准教授) 平成27年7月 教員審査済 判定可			
		初年次セミナーⅡ	1後	2			3	2 1 2	2			杉田郁代准教授退職のため他の専任のみで実施、後任未定、専任教員採用予定で公募中(27) 杉田郁代准教授辞任により、教員追加(28) 担当 川人潤子(准教授) 平成27年7月 教員審査済 判定可				
	キャリア形成	キャリアデザイン	2前	2									兼1			
		キャリアデザイン演習Ⅰ	2後		2									兼1		
		教職キャリア演習Ⅰ	3後		2									兼1		
		教職キャリア演習Ⅱ	4前		2									兼1		
	日本語	日本語リテラシー	1前	1										兼2		
		日本語表現Ⅰ	1後		1									兼2		
		日本語基礎Ⅰ	1後		1									兼1		
		英語リテラシー	英語リテラシー	1前	1										兼3 兼2	教育内容充実のため、担当者追加(28)
			英語Ⅰ	1後		1									兼2 兼1	教育内容充実のため、担当者追加(28)
		英語Ⅱ	英語Ⅱ	2前		1									兼4 兼3 兼1	教育内容充実のため、担当者追加(27)(28)
			英語Ⅲ	2後		1									兼2 兼3 兼1	教育内容充実のため、担当者追加(27) 担当の変更(28)
		英語基礎Ⅰ	英語基礎Ⅰ	1後		1									兼1	
			英語基礎Ⅱ	2前		1									兼1	
			英語基礎Ⅲ	2後		1									兼1	
		英会話Ⅰ	英会話Ⅰ	1後		1									兼3 兼2 兼1	教育内容充実のため、担当者追加(27)(28)
			英会話Ⅱ	2前		1									兼3 兼5 兼1	教育内容充実のため、担当者追加(27) 担当の変更(28)
			英会話Ⅲ	2後		1									兼2 兼3 兼1	教育内容充実のため、担当者追加(27) 担当の変更(28)
	情報	コンピュータリテラシー	1前	1										兼1		
情報処理演習A		1後		1									兼1			
情報処理演習B		1後		1									兼2			
情報処理演習C		2前		1									兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置						備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	教養科目	人間	人間と生命	1・2・3・4前	2								兼8	教育内容充実のため、担当者追加(26) 杉田郁代准教授退職のため、兼任教員を追加。後任未定、専任教員採用予定で公募中(27) 杉田郁代准教授辞任により、教員追加(28) 担当 川人潤子(准教授) 平成27年7月 教員審査済 判定 可
			こころの科学A	1・2・3・4前後	2								兼2 兼1	
			こころの健康A	1・2・3・4前	2				1+				兼1 兼2 兼1	
			人間の発達A	1・2・3・4後	2								兼2	
			からだを科学する	1・2・3・4前後	2								兼1	
			食を考える	1前	2			5	1					
			食事と健康	1後	2			5	1					
			ウェルネス論	1前	2								兼1	
			スポーツA	1前	1						1			
	社会	日本国憲法	2後	2									兼1	
		人権を考える	1・2・3・4後	2									兼1	
		ひろしま学A	1・2・3・4前	2									兼3	
		地域文化を体験するA	1・2・3・4前	2									兼4 兼5	
		異文化を知る	1・2・3・4前後	2									兼2	
地球環境を考える	1・2・3・4後	2									兼1 兼2			
専門教育科目	導入分野	管理栄養論Ⅰ	1前	2			1							
		管理栄養論Ⅱ	1後	2			4	1	1					
		栄養基礎総合演習	1前	2			4	1	1					
		基礎化学	1前	2									兼1	
		基礎生物学	1前	2			1							
	社会・環境と健康	健康科学論	1前	2						1				
		健康心理学	1後	2						1+			兼1	
		公衆衛生学	3後	2									兼1	
		社会福祉論	1後	2									兼1	
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学Ⅰ	2前	2			1						
			解剖生理学Ⅱ	2後	2			1						
			疾病論Ⅰ	3前	2			1						
			疾病論Ⅱ	3後	2			1						
			栄養生化学	2前	2			1						
栄養生化学実験	2後		1			1					1			
生化学	2前		2			1						1		
生化学実験	2後		1			1						1		
運動生理学	2後		2						1					
運動生理学実習	3後	1						1			1			
運動処方論	3後	2						1						

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由		教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専門基礎分野	食品学	2前	2			1						
	食品学実験	2後		1		1					1	
	基礎分析実験	2前		1		1					1	
	食品加工学	2後	2			1						
	食品加工学実習	3後		1		1					1	
	調理学	1前	2			1						
	調理学実習Ⅰ	1前	1			1					1	
	調理学実習Ⅱ	2前	1			1					1	
	調理学実習Ⅲ	2後		1		1					1	
	食品衛生学	2後	2									兼1
	食品衛生学実習	3前		1		1					1	
専門教育科目	基礎栄養学	栄養学	1前	2								兼1
		栄養学実験	1後	1			2	1			1	
	応用栄養学	ライフステージ栄養学	1後	2			1					
		ライフステージ栄養学実習	2後		1		2				1	
		栄養ケア・マネジメント	1後	2				1				平成26年1月AC教員審査済 (26)
		スポーツ栄養学	4前		2		1		1			平成26年1月AC教員審査済 (26)
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	1前	2			1					
		栄養教育論Ⅱ	1後	2			1					
		栄養教育論Ⅲ	2前	2			1					
		栄養教育論実習Ⅰ	2前		1		1				1	
		栄養教育論実習Ⅱ	2後		1		1				1	
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	2前	2				1					
	臨床栄養学Ⅱ	2後	2				1					
	臨床栄養学Ⅲ	3前	2				1					
	臨床栄養学実習Ⅰ	2後		1			1			1		
	臨床栄養学実習Ⅱ	3後		1			1			1		
	薬理学	3後		2							兼1	
公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	3前	2			1						
	公衆栄養学Ⅱ	3後	2			1						
	公衆栄養学実習	3後		1		1				1		
給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	2前	2			1						
	給食経営管理論Ⅱ	2後	2			1						
	給食経営管理実習Ⅰ	3前	1			1				1		
	給食経営管理実習Ⅱ	3後	1			1				1		
総合演習	総合演習	3前	1			4	1	1				
	臨地実習事前事後指導A	3通	1			1		1				
	臨地実習事前事後指導B	4通		1		4	1	1				
臨地実習	給食経営管理臨地実習Ⅰ(給食の運営)	3通	1			1				1		
	給食経営管理臨地実習Ⅱ	4通		1		1				1		
	公衆栄養学臨地実習	4通		1		1				1		
	臨床栄養学臨地実習Ⅰ	4通		1			1			1		
	臨床栄養学臨地実習Ⅱ	4通		1			1			1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置						備考			
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手						
専門教育科目	臨床・福祉関連領域	カウンセリング論	1後	2			1	+					兼1	杉田郁代准教授退職後、兼任教員として担当。後任未定、専任教員採用予定で公募中(27) 杉田郁代准教授辞任により、教員追加(28) 担当 川人潤子(准教授) 平成27年7月 教員審査済 判定 可		
		カウンセリング演習	3後	2			1	+						杉田郁代准教授退職。後任未定、専任教員採用予定で公募中(27) 杉田郁代准教授辞任により、教員追加(28) 担当 川人潤子(准教授) 平成27年7月 教員審査済 判定 可		
		栄養サポートチーム活動論	4前	2			1									
	子ども関連領域	子どもの食Ⅰ	3前	2					1						兼1 兼1 兼1 兼2	兼任教員退職のため後任者選考中(27) 担当の変更(28)
		子どもの食Ⅱ	3後		2				1							
		子ども発達心理学	1後		2											
		子どもの保健	1後		2											
		保育コミュニケーション	1後		2											
	地域貢献・連携領域	ひろしまの食	2後		2		1							兼1		
		地域活動論	2後		2											
		ひろしまの食と健康・栄養活動A	3前		2		3		1							
		ひろしまの食と健康・栄養活動B	3前		2		2	1								
		地域課題研究Ⅰ	3後	2			6	1	2							
		地域課題研究Ⅱ	4前	2			6	1	2							
		地域課題研究Ⅲ	4後	2			6	1	2							
	栄養教諭養成領域	学校栄養教育指導論	3前		2				1					兼1	課程認定審査による指摘により、担当者を1名追加予定。平成26年7月AC教員審査提出予定(26) 平成26年7月AC教員審査済。杉田郁代准教授、及び兼任教員退職のため、後任未定、専任教員採用予定で公募中(27) 杉田郁代准教授及び兼任教員辞任により、教員追加(28) 担当 川人潤子(准教授) 平成27年7月 教員審査済 判定 可	
		学校栄養教育実践論	3後		2				1					兼1		
		教職入門	1前		2									兼1		
		教育基礎論	1後		2									兼1		
		教育心理学	3前		2			1	+					兼1		
		教育の制度と経営	2後		2									兼1		
		教育課程総論(特別活動を含む)	3前		2									兼2 兼1		課程認定審査による指摘を受け、担当教員を変更した(26)
		道徳教育の理論と方法	3後		2									兼1		
		教育の方法と技術	3前		2									兼2 兼1		課程認定審査による指摘を受け、担当教員を変更した(26)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置						備考	
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	栄養教諭養成領域	生徒指導論 生徒・進路指導論	3前		2			1						課程認定審査による指摘を受け、科目名を変更予定。 平成26年7月AC教員審査提出予定(26) 平成26年7月AC教員審査済。 杉田郁代准教授退職。後任未定。専任教員採用予定で公募中(27) 杉田郁代准教授辞任により、教員追加(28) 担当 川人潤子(准教授) 平成27年7月 教員審査済 判定 可 兼1 杉田郁代准教授退職後、兼任教員として担当。後任未定。専任教員採用予定で公募中(27) 杉田郁代准教授辞任により、教員追加(28) 担当 川人潤子(准教授) 平成27年7月 教員審査済 判定 可 兼1
		教育相談(カウンセリングを含む。)	2前		2			1						
		栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	4通		2		1			1		1		
		教職実践演習(栄養教諭)	4後		2		1			1				
	健康栄養総合演習領域	健康栄養総合演習Ⅰ	3前		2		7	1	2					
		健康栄養総合演習Ⅱ	3後		2		7	1	2					
		健康栄養総合演習Ⅲ	4前		2		7	1	2					
		健康栄養総合演習Ⅳ	4後		2		7	1	2					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
45	88	0	133	45	88	0	133	
				[-]	[-]	[-]	[-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合 「該当なし」

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	比治山大学短期大学部と共用		
	校舎敷地	0㎡	30,121㎡	0㎡	30,121㎡			
	運動場用地	0㎡	19,538㎡	0㎡	19,538㎡			
	小 計	0㎡	49,659㎡	0㎡	49,659㎡			
	そ の 他	0㎡	50,915㎡	0㎡	50,915㎡			
合 計	0㎡	100,574㎡	0㎡	100,574㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	比治山大学短期大学部と共用			
	10,588.54㎡ (10,588.54㎡)	15,780.28㎡ (15,780.28㎡)	10,894.26㎡ (10,894.26㎡)	37,263.08㎡ (37,263.08㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	29室	8室	25室	2室 (補助職員 1人)	3室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	健康栄養学部管理栄養学科		11 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	開設年度前に計画した図書8052冊、視聴覚資料12冊の購入費に値引きがあり、教育内容の充実のために図書45冊、視聴覚資料1冊を追加したため(26)開設年度120冊の購入予定であったが、購入時に値引きがあり、教育内容の充実のため、図書33冊を追加購入した(27)開設年度120冊の購入予定であったが、購入時に値引きがあり、教育内容の充実のため、図書23冊を追加購入した(28)
	健康栄養学部管理栄養学科	8,500 [271] (8,393 [243]) (8,250 [223]) (8,097 [203]) (8,052 [203])	25 [5] (25 [5])	5 [5] (5 [5])	25 (26) (19) (13) (12)	360 (360)	12 (12)	
	計	8,500 [271] (8,393 [243]) (8,250 [223]) (8,097 [203]) (8,052 [203])	25 [5] (25 [5])	5 [5] (5 [5])	25 (26) (19) (13) (12)	360 (360)	12 (12)	
(6) 図 書 館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数	大学全体 図書館内にラーニングcommons設置のため座席数が減少した(27)				
	1,417.17㎡	202席 —228席	21万冊					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,624.70㎡	テニスコート2面、トレーニングルーム1室、リズム室1室						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	450千円	450千円	図書購入費	2,329千円	1,702千円	1,385千円
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	117,075千円	0千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	平成28年度入学生から納付金の改正(28)
1,330千円	1,080千円 1,060千円	1,080千円 1,060千円	1,080千円 1,060千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	比治山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
健康栄養学部 管理栄養学科	4	70	3年次5	290	学士(栄養学)	0.97	平成26年度	広島県広島市東区牛田新町四丁目1番1号	
現代文化学部 言語文化学科	4	120	3年次5	490	学士(文学)	1.03	平成6年度	同上	
マスコミュニケーション学科	4	60	3年次3	246	学士(文学)	0.79	平成16年度	同上	
社会臨床心理学科	4	60	3年次5	250	学士(心理学)	1.11	平成16年度	同上	
子ども発達教育学科	4	70	3年次10	300	学士(教育学)	1.12	平成21年度	同上	
現代文化研究科 現代文化専攻	2	9	-	18	修士(文学又は学術)	0.00	平成18年度	同上	
臨床心理学専攻	2	5	-	10	修士(文学又は学術)	1.20	平成18年度	同上	
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)									
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は									
大学の名称	比治山大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
幼児教育科	2	100	-	200	短期大学士(幼児教育)	1.12	昭和45年度	広島県広島市東区牛田新町四丁目1番1号	
総合生活デザイン学科	2	100	-	200	短期大学士(生活学又は栄養学)	1.15	昭和42年度	同上	平成26年度より入学定員(170人→100人)、収容定員(340人→200人)変更 平成25年度届出済(26)
美術科	2	70	-	140	短期大学士(美術)	0.83	昭和42年度	同上	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<健康栄養学部 管理栄養学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月			
専	教授 (学部長)	小田 光子 (67)	平成26年4月	食を考える 食事と健康 管理栄養論Ⅱ 栄養基礎総合演習 ライフステージ栄養学 スポーツ栄養学 公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 総合演習 臨地実習事前事後指導B 公衆栄養学臨地実習 ひろしまの食と健康・栄養活動B 地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 地域課題研究Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅰ 健康栄養総合演習Ⅱ 健康栄養総合演習Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅳ	専	教授 (学部長)	小田 光子 (67)	平成26年4月	食を考える 食事と健康 管理栄養論Ⅱ 栄養基礎総合演習 ライフステージ栄養学 スポーツ栄養学 公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 総合演習 臨地実習事前事後指導B 公衆栄養学臨地実習 ひろしまの食と健康・栄養活動B 地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 地域課題研究Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅰ 健康栄養総合演習Ⅱ 健康栄養総合演習Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅳ	平成26年1月A.C教員審査済 (26)
専	教授	上村 芳枝 (67)	平成26年4月	食を考える 食事と健康 管理栄養論Ⅱ 栄養基礎総合演習 調理学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 調理学実習Ⅲ ライフステージ栄養学実習 総合演習 臨地実習事前事後指導B ひろしまの食 ひろしまの食と健康・栄養活動A 地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 地域課題研究Ⅲ 栄養教育実習（事前事後指導を含む。） 教職実践演習（栄養教諭） 健康栄養総合演習Ⅰ 健康栄養総合演習Ⅱ 健康栄養総合演習Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅳ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	前大道 教子 (67)	平成26年4月	食を考える 食事と健康 管理栄養論Ⅱ 栄養基礎総合演習 ライフステージ栄養学実習 栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育論Ⅲ 栄養教育論実習Ⅰ 栄養教育論実習Ⅱ 総合演習 臨地実習事前事後指導B ひろしまの食と健康・栄養活動B 地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 地域課題研究Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅰ 健康栄養総合演習Ⅱ 健康栄養総合演習Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅳ						
専	教授	平田 健 (66)	平成27年4月	初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ 食品学 食品学実験 基礎分析実験 食品加工学 食品加工学実習 食品衛生学実習 栄養学実験 ひろしまの食と健康・栄養活動A 地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 地域課題研究Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅰ 健康栄養総合演習Ⅱ 健康栄養総合演習Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅳ						
兼任	講師	平田 健 (66)	平成26年10月	栄養学実験						
専	教授	楠元 芳典 (64)	平成27年4月	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 健康栄養総合演習Ⅰ 健康栄養総合演習Ⅱ 健康栄養総合演習Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅳ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	古川 真一 (59)	平成26年4月	初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ 食を考える 食事と健康 基礎生物学 栄養生化学 栄養生化学実験 生化学 生化学実験 栄養学実験 地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 地域課題研究Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅰ 健康栄養総合演習Ⅱ 健康栄養総合演習Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅳ						
専	教授	寺岡 千恵子 (49)	平成26年4月	初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ 食を考える 食事と健康 管理栄養論Ⅰ 管理栄養論Ⅱ 栄養基礎総合演習 給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理実習Ⅰ 給食経営管理実習Ⅱ 総合演習 臨地実習事前事後指導A 臨地実習事前事後指導B 給食経営管理臨地実習Ⅰ(給食の運営) 給食経営管理臨地実習Ⅱ ひろしまの食と健康・栄養活動A 地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 地域課題研究Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅰ 健康栄養総合演習Ⅱ 健康栄養総合演習Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅳ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	横山 しつよ (64)	平成26年4月	初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ 食を考える 食事と健康 管理栄養論Ⅱ 栄養基礎総合演習 栄養学実験 栄養ケア・マネジメント 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 総合演習 臨床実習事前事後指導B 臨床栄養学臨床実習Ⅰ 臨床栄養学臨床実習Ⅱ 栄養サポートチーム活動論 ひろしまの食と健康・栄養活動B 地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 地域課題研究Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅰ 健康栄養総合演習Ⅱ 健康栄養総合演習Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅳ	専	准教授	横山 しつよ (64)	平成26年4月	初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ 食を考える 食事と健康 管理栄養論Ⅱ 栄養基礎総合演習 栄養学実験 栄養ケア・マネジメント 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 総合演習 臨床実習事前事後指導B 臨床栄養学臨床実習Ⅰ 臨床栄養学臨床実習Ⅱ 栄養サポートチーム活動論 ひろしまの食と健康・栄養活動B 地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 地域課題研究Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅰ 健康栄養総合演習Ⅱ 健康栄養総合演習Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅳ	平成26年1月AC教員審査済 (26)
専	講師	沖本 久恵 (57)	平成28年4月	初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ 管理栄養論Ⅱ 栄養基礎総合演習 総合演習 臨床実習事前事後指導A 臨床実習事前事後指導B 子どもの食Ⅰ 子どもの食Ⅱ ひろしまの食と健康・栄養活動A 地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 地域課題研究Ⅲ 学校栄養教育指導論 学校栄養教育実践論 栄養教育実習（事前事後指導を含む。） 教職実践演習（栄養教諭） 健康栄養総合演習Ⅰ 健康栄養総合演習Ⅱ 健康栄養総合演習Ⅲ 健康栄養総合演習Ⅳ						
兼任	講師	沖本 久恵 (55)	平成26年10月	管理栄養論Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	准教授	杉田 郁代 (45)	平成26年4月	初年次セミナーⅠ			後任未定		初年次セミナーⅠ	課程認定審査による指摘により、担当者を1名追加予定。平成26年7月AC教員審査提出予定(26) 平成26年7月AC教員審査済(27)	
				初年次セミナーⅡ					初年次セミナーⅡ		
				こころの健康A					こころの健康A	課程認定審査による指摘を受け、科目名を変更予定。平成26年7月AC教員審査提出予定(26) 平成26年7月AC教員審査済(27)	
				健康心理学				健康心理学	健康心理学		
				カウンセリング論					カウンセリング論	平成27年3月杉田郁代(准教授)一身上の都合により退職	
				カウンセリング演習				カウンセリング演習	カウンセリング演習		
				教育心理学					教育心理学	平成27年度「初年次セミナーⅠ、Ⅱ」は他の専任教員で実施。「こころの健康A」は兼任教員が担当。その他の科目については、杉田教員が兼任として担当。後任未定、専任教員採用予定で公募中	
				生徒・進路指導論					生徒指導論		
				教育相談(カウンセリングを含む。)					教育相談(カウンセリングを含む。)		
						専	准教授	川人 潤子 (33)	平成28年4月	初年次セミナーⅠ	平成27年7月AC教員審査済(28)
									初年次セミナーⅡ		
									こころの健康A	平成27年7月AC教員審査済(28)	
									健康心理学		
									カウンセリング論	平成27年7月AC教員審査済(28)	
									カウンセリング演習		
									教育心理学	平成27年7月AC教員審査済(28)	
									生徒指導論		
									教育相談(カウンセリングを含む。)		
専	講師	宮原 祐徹 (34)	平成26年4月	初年次セミナーⅠ					初年次セミナーⅠ	平成26年1月AC教員審査済(26)	
				初年次セミナーⅡ					初年次セミナーⅡ		
				スポーツA					スポーツA		
				健康科学論					健康科学論		
				運動生理学					運動生理学		
				運動生理学実習					運動生理学実習		
				運動処方論					運動処方論		
				スポーツ栄養学					スポーツ栄養学		
				地域課題研究Ⅰ					地域課題研究Ⅰ		
				地域課題研究Ⅱ					地域課題研究Ⅱ		
				地域課題研究Ⅲ					地域課題研究Ⅲ		
				健康栄養総合演習Ⅰ					健康栄養総合演習Ⅰ		
				健康栄養総合演習Ⅱ					健康栄養総合演習Ⅱ		
				健康栄養総合演習Ⅲ					健康栄養総合演習Ⅲ		
健康栄養総合演習Ⅳ	健康栄養総合演習Ⅳ										

<共通>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	鈴木 盛久 (69)	平成26年4月	人間と生命 地球環境を考える	兼任	教授	鈴木 盛久 (70) 林 武広 (65)	平成26年4月 平成28年4月	人間と生命	担当科目の変更 (27) 担当者の変更 (28)
兼任	教授	二宮 皓 (68)	平成26年10月	教育基礎論						
兼任	教授	宇野 憲治 (66)	平成26年4月	人間と生命						
兼任	教授	溝部 ちづ子 (65)	平成26年4月	教職入門 教職実践演習 (栄養教諭)						
兼任	教授	金野 伸雄 (64)	平成26年4月	英語Ⅲ 異文化を知る	兼任	教授	金野 伸雄 (65)	平成27年4月	異文化を知る	担当科目の変更 (27)
兼任	教授	志田原 重人 (62)	平成26年4月	ひろしま学A						
兼任	教授	石田 信夫 (62)	平成26年4月	人間と生命						
兼任	教授	David M. Mosher (60)	平成26年4月	英会話Ⅱ 異文化を知る	兼任	教授	David M. Mosher (61)	平成27年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 異文化を知る	教育充実のため、担当者追加 (27)
兼任	教授	貝嶋 崇 (60)	平成26年4月	英語Ⅰ 人間と生命	兼任 兼任	教授 講師	貝嶋 崇 (61) 橋本 朝子 (58)	平成27年4月 平成28年10月	英語Ⅰ	担当科目の変更 (27) 担当者の変更 (28)
兼任	教授	大谷 哲朗 (松永 哲朗) (60)	平成26年4月	こころの健康A						
兼任	教授	深田 成子 (58)	平成26年4月	こころの科学A						
兼任	教授	戸田 利彦 (56)	平成26年10月	日本語表現Ⅰ						
兼任	教授	山田 知子 (56)	平成27年10月	地域活動論						
兼任	教授	吉田 弘司 (52)	平成26年4月	人間と生命						
兼任	教授	重迫 和美 (48)	平成27年4月	英語基礎Ⅱ	兼任	教授	重迫 和美 (48)	平成27年4月	人間と生命	担当科目の変更 (27)
兼任	教授	土居 裕美子 (同野 裕美子) (46)	平成26年4月	日本語リテラシー ひろしま学A	兼任	講師	刀田 絵美子 (31)	平成27年4月	日本語リテラシー ひろしま学A	平成27年3月土居裕美子 (同野裕美子) 教授、家庭 の都合により退職 (27)
兼任	准教授	福伊 智 (54)	平成28年4月	教育課程総論 (特別活動を含む)	兼任	講師	中山 和一 (58)	平成28年4月	教育課程総論 (特別活動を含む)	課程認定審査による指摘を 受け、担当教員を変更した (26)
兼任	准教授	森川 敦子 (53)	平成28年10月	道徳教育の理論と方法						
兼任	准教授	芦谷 宏子 (52)	平成27年4月	キャリアデザイン キャリアデザイン演習Ⅰ						
兼任	准教授	井口 あずさ (49)	平成26年10月	日本語基礎Ⅰ	兼任	准教授 講師	山崎 真克 (46) 小林 洋介 (38)	平成27年10月 平成28年10月	日本語基礎Ⅰ	担当者の変更 (27) 担当者の変更 (28)
兼任	准教授	Damon E. Chapman (47)	平成26年10月	英会話Ⅰ	兼任	教授	Damon E. Chapman (48)	平成27年10月	英会話Ⅰ 英会話Ⅲ 英会話Ⅱ	教育充実のため、担当者追加 昇任のため職名変更 (27) 担当者の変更 (28)
兼任	准教授	大牛 英則 (47)	平成27年4月	英語Ⅱ	兼任	講師	池田 幸恵 (36)	平成27年4月	英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語基礎Ⅲ	担当者の変更。教育内容充 実のため、担当者追加 (27) 担当者の変更 (28)
					兼任	講師	平本 哲嗣 (46)	平成27年4月	英語Ⅱ 英語Ⅲ	担当者の変更。教育内容充 実のため、担当者追加 (27)
					兼任	講師	古田 ユミ (43)	平成27年4月	英語Ⅱ 英語Ⅲ	担当者の変更。教育内容充 実のため、担当者追加 (27)
					兼任	講師	沖 美智子 (36)	平成28年4月	英語Ⅱ	教育内容充実のため、担当 者追加 (28)
兼任	准教授	佐々木 淳 (46)	平成26年4月	英語リテラシー	兼任	教授	佐々木 淳 (47)	平成26年4月	英語リテラシー	昇任のため職名変更 (27)
兼任	准教授	山崎 真克 (45)	平成26年4月	日本語表現Ⅰ ひろしま学A	兼任	准教授 教授	山崎 真克 (45)	平成27年4月	ひろしま学A	担当科目の変更 (27) 昇任のため職名変更 (28)
兼任	講師	九内 悠水子 (37)	平成26年4月	日本語リテラシー	兼任	准教授	九内 悠水子 (38)	平成26年4月	日本語リテラシー	昇任のため職名変更 (27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	酒井 研作 (36)	平成27年10月	教職キャリア演習Ⅰ 教職キャリア演習Ⅱ 教育の制度と経営						
兼任	講師	渡辺 大介 (33)	平成26年10月	子ども発達心理学	兼任	講師	渡辺 大介 (33)	平成26年10月	教育心理学 子ども発達心理学	課程認定審査による指摘により、「教育心理学」に渡辺講師を追加予定。平成26年7月A C教員審査提出予定(26) 平成27年3月渡辺大介講師雇用契約終了のため退職。後任選考中(27) 担当者の変更(28)
					兼任	講師	濱田 祥子 (31)	平成28年10月	子ども発達心理学	
兼任	講師	阪本 博臣 (70)	平成27年10月	日本国憲法						
兼任	講師	岩村 穂波 (68)	平成26年4月	人間と生命						
兼任	講師	梶谷 芳宏 (68)	平成26年10月	人権を考える						
兼任	講師	鍋池 千恵子 (68)	平成27年10月	公衆衛生学 食品衛生学 薬理学	兼任	講師	鍋池 千恵子 (68)	平成27年10月	公衆衛生学 食品衛生学	鍋池講師の都合のため、平成28年度より担当科目の変更(28) 担当者の変更(28)
					兼任	講師	小澤 孝一郎 (56)	平成28年10月	薬理学	
兼任	講師	橋本 恵子 (66)	平成26年4月	ウェルネス論	兼任	講師	高德 希 (33)	平成27年4月	ウェルネス論	担当者の変更(27)
兼任	講師	内 資子 (66)	平成26年4月	英語リテラシー	兼任	講師	橋本 朝子 (56)	平成26年4月	英語リテラシー	内講師の都合のため、平成26年度より担当者の変更(26)
兼任	講師	加藤 一孝 (64)	平成26年4月	地球環境を考える						
兼任	講師	大辻 明 (64)	平成26年4月	からだを科学する						
兼任	講師	Jeffrey Nolin (64)	平成27年10月	英会話Ⅲ	兼任	講師	Jeffrey Nolin (64)	平成27年4月	英会話Ⅱ	担当科目の変更、教育内容充実のため、担当者追加(27) 担当者の変更(28)
兼任	講師	高木 茂登 (63)	平成26年4月	人間と生命 地域文化を体験するA						
兼任	講師	安仁屋 宗正 (63)	平成27年10月	英語基礎Ⅲ	兼任	講師	田中一久男 (60)	平成27年4月	英語基礎Ⅱ 英語基礎Ⅲ	担当者の変更(27) 担当者の変更(28)
兼任	講師	森 修也 (62)	平成26年10月	人間の発達A 社会福祉論						
兼任	講師	加藤 篤久 (62)	平成26年4月	栄養学						
兼任	講師	有田 正志 (61)	平成26年4月	基礎化学						
兼任	講師	野上 俊之 (61)	平成26年10月	保育コミュニケーション						
兼任	講師	荒木 然一 (57)	平成26年4月	地域文化を体験するA						
兼任	講師	橋本 朝子 (56)	平成26年10月	英語基礎Ⅰ	兼任	教授	貝嶋 崇 (62)	平成28年10月	英語基礎Ⅰ	担当者の変更(28)
兼任	講師	山本 克子 (55)	平成26年10月	情報処理演習B 情報処理演習C						
兼任	講師	難波 千富美 (55)	平成26年10月	情報処理演習A	兼任	講師	亀岡 百枝 (46)	平成27年4月	情報処理演習A	担当者の変更(27)
兼任	講師	金井 裕美子 (51)	平成28年4月	教育の方法と技術	兼任	講師	深澤 広明 (58)	平成28年4月	教育の方法と技術	課程認定審査による指摘を受け、担当教員を変更した(26)
					兼任	講師	藤井 一郎 (45)	平成28年4月	教育の方法と技術	
兼任	講師	久保田 貴美子 (松田 貴美子) (48)	平成26年10月	保育コミュニケーション						
兼任	講師	七木田 方美 (47)	平成26年4月	人間と生命 人間の発達A 子どもの保健						
兼任	講師	亀岡 百枝 (46)	平成26年4月	コンピュータリテラシー						
兼任	講師	今田 拓志 (43)	平成26年4月	地域文化を体験するA						
兼任	講師	前田 和寛 (36)	平成26年10月	情報処理演習B						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	久保 直子 (32)	平成26年4月	地域文化を体験するA	兼任	講師	堀尾 充 (64)	平成27年4月	地域文化を体験するA	担当者の変更 (27)
兼任	講師	宮崎 しずか (31)	平成26年4月	地域文化を体験するA	兼任	講師	宮崎 しずか (31)	平成26年4月	地域文化を体験するA	育児休暇のため、他の兼任が担当 (28)
					兼任	講師 准教授	塚脇 涼太 (34)	平成26年4月	こころの科学A	教育内容充実のため、担当者追加 (26) 昇任のため職名変更 (28)
					兼任	講師	Peter Berg (68) Dion Clingwall (45)	平成27年4月 平成28年4月	英会話II 英会話III	教育内容充実のため、担当者追加 (27) 担当者の変更 (28)
					兼任	講師	Gregory Dillon (50)	平成27年4月	英会話II 英会話III	教育内容充実のため、担当者追加 (27) 担当者の変更 (28)
					兼任	講師	野坂 眞智代 (50)	平成27年4月	こころの健康A	杉田郁代准教授退職のため、兼任教員を追加 (27) 専任教員追加のため担当者変更 (28)
					兼任	講師	上別府 メリッサ (49)	平成27年4月	英会話II	教育内容充実のため、担当者追加 (27) 担当者の変更 (28)
					兼任 兼任	講師	小林 洋介 (38) 三根 直美 (52)	平成27年10月 平成28年10月	日本語表現I	教育内容充実のため、担当者追加 (27) 担当者の変更 (28)
					兼任	講師	勝田 悦一 (70)	平成28年4月	英語リテラシー 英語I	教育内容充実のため、担当者追加 (28)
					兼任	講師	原田 良三 (65)	平成28年4月	英語基礎II	担当者の変更 (28)
					兼任	講師	未定	平成28年10月	英会話I	教育内容充実のため、担当者追加 (28)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成28年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	2	2	0	11	7	2	2	0	11	7	2	2	0	11
(5)	(2)	(1)	(0)	(8)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	3 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担当教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	准教授	杉田 郁代	必修	初年次セミナーⅠ	①	一身上の都合のため辞任 (27)	
			必修	初年次セミナーⅡ	①		
			選択	こころの健康A	①		
			選択	健康心理学	①		
			必修	カウンセリング論	①		
			選択	カウンセリング演習	①		
			選択	教育心理学	①		
			選択	生徒指導論	①		
			選択	教育相談(カウンセリングを含む。)	①		
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	科目
		選択	6 科目	選択	6 科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担当教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	科目
		選択	6 科目	選択	6 科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	9 科目	計	9 科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

杉田准教授の後任については、専任教員を採用予定で公募している。平成27年度科目は、杉田准教授が兼任として一部担当する他、専任教員又は兼任教員で担当し、学生の履修等への影響はないものとする。
また、担当者の変更については、学生へシラバス及び時間割等で周知を行っている。(27)
専任教員を採用(平成27年7月教員審査済)し、前任者の授業科目をすべて担当するため、学生の履修等への影響はないものとする。学生にはシラバス及び時間割等で周知している。(28)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (26年10月)	<p>1. 栄養士の養成を行う短期大学部総合生活デザイン学科を存続させ、同一分野の学部学科が4年制大学と短期大学とで併存する計画である。従って、学生募集に当たっては受験者に対して新設する4年制大学の学部学科と短期大学の学科の目的や役割の違い等を明確にした広報活動を積極的に行うなどして、新設する4年制大学の学科の学生確保に努めること。</p>	<p>栄養士の養成を行う短期大学部総合生活デザイン学科の学生募集については、大学案内で栄養士になるための教育内容や卒業後の進路や栄養士業務に携わっている卒業生の活動状況を具体的に紹介するなどの広報活動を行っている。また、管理栄養学科の学生募集については、管理栄養学科の教育目標・到達目標、学びのポイント、教育内容等を詳細に紹介し、管理栄養士と栄養士の役割の違いを明確にして広報活動を行っている。 (26)</p> <p>大学案内や広報活動等により、栄養士の養成を行う短期大学部総合生活デザイン学科との教育目的・目標、学びのポイント、教育内容等の違いを明確にし、受験生に広報した。本学科の志願者も増えて、入学定員の確保ができた。 (27)</p> <p>短大の栄養士養成コースの入学定員充足状況に鑑み学生募集停止をすることを決定した。健康栄養学部管理栄養学科の学生確保に務め、昨年度に引き続き入学定員を充足した。 (28)</p>	該当なし

	<p>2. 人材養成の特色として「男女共同参画社会の実現を目指し男子の管理栄養士の養成に努める」ことを挙げているが、現状の本学が考えている理解のまま人材養成の特色として広報等を行うと、学生や社会に対して男女共同参画社会の実現について誤解を与えるおそれがあることから、「男女共同参画社会の実現」の内容等に関する大学側の理解を十分に深め、大学側の考え方を再検討するなど対外的に誤解を与えないよう配慮すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>本学が現状の理解のまま人材養成の特色として広報等を行うことは、学生や社会に対して誤解を与える旨の指摘を真摯に受け止め、設置認可後の広報媒体（ホームページ、パンフレット等）から「男女共同参画社会の実現」の項を削除した。(26)</p> <p>本学が現状の理解のまま人材養成の特色として広報等を行うことは、学生や社会に対して誤解を与える旨の指摘を真摯に受け止め、今後とも広報活動に留意するとともに「男女共同参画社会の実現」について、これまでと同様に大学として積極的に取り組む。(27)</p> <p>対外的に誤解をあたえないように配慮し、広報を行っている。(28)</p>	<p>該当なし</p>
<p>設置時 (26年10月)</p>	<p>3. 「栄養ケア・マネジメント」の講義等の内容において「食事摂取基準に基づいて栄養アセスメントを行い」とあり、また「スポーツ栄養学」の講義等の内容においては「食事摂取基準を活用してスポーツ栄養マネジメント(運動時に必要なエネルギー量、たんぱく質、脂質、ビタミン、無機質)ができるよう」とあるが、これらは食事摂取基準のみで考えるものではなく、用語の使い方が不適切と思われるので、修正すること。また、「栄養ケア・マネジメント」の講義等の内容において、「ライフステージ栄養学で学んだ食事摂取基準策定の考え方や科学的根拠の基礎知識を踏まえ」とあるが、両科目の配当時期が同じであり整合性が取れていないことから、講義等の内容を修正するか、配当時期を修正すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>「栄養ケア・マネジメント」及び「スポーツ栄養学」の講義内容を修正し、平成26年1月のアフターケア教員審査を受け、判定「可」となった。(26)</p> <p>同上 (27)</p> <p>同上 (28)</p>	<p>該当なし</p>

<p>設置時 (26年10月)</p>	<p>4. 一部の専任教員の担当授業科目数が多く、大学側が想定している以上の負担になると思われる。また、担当授業科目数が特に多い教員に対して適用する負担軽減策をもってしてもなお教員の負担は重いものと思われることから、教員の担当授業科目数や負担軽減策について、再度検討すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>担当授業科目が特に多い3人の教員について、同一授業を複数教員がグループごとに行う授業科目の担当を平成28年度から段階的に削減する予定である。(26)</p> <p>同上 (27)</p> <p>担当授業科目が特に多い3人の教員について、平成28年度は同一授業を複数教員がグループ分けで行う授業科目を合同で実施し授業時間を削減する。(28)</p>	<p>調書番号②：1科目を削除し完成年度の合計年週時間数を45.8時間から43.8時間に軽減予定。 調書番号④：2科目を削除し完成年度の合計年週時間数を43.9時間から39.9時間に軽減予定。 調書番号⑤：5科目削減し完成年度の合計年週時間数を47.6時間から37.6時間に軽減予定。 (26)</p> <p>同上 (27)</p> <p>完成年度には、同一授業を複数教員がグループで行う科目を削減する予定である。(28)</p>
	<p>5. 教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた2授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>平成26年1月のアフターケア教員審査で2授業科目を担当する専任教員3名の審査を受け、判定「可」となった。(26)</p> <p>同上 (27)</p> <p>同上 (28)</p>	<p>該当なし</p>

設置時 (26年10月)	6. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	留意事項	設置の趣旨及び資料で示したとおり、完成年度以降は教員年齢構成のバランスを考慮した採用計画を予定している。 (26) 同上 (27) 同上 (28)	完成年度以降4年間の教員採用計画予定 平成30年度：教授1人(55歳位)、准教授1人(40歳位)、講師又は助教1人(35歳位) 平成31年度：講師又は助教1人(30歳位) 平成32年度：准教授1人(45歳位) 平成33年度：教授1人(63歳位) (26) 同上(27) 同上(28)
設置計画履行状況調査時 (27年2月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況調査時 (28年2月)	既設学部等(比治山大学短期大学部総合生活デザイン学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	比治山大学短期大学部総合生活デザイン学科の入学定員については見直しを行い、170名を100名(平成26年4月1日から健康栄養学部新設と同時)に減じて対応してきた。 設置計画履行状況報告書において、平均入学定員超過率を計算する際、誤って入学定員を170名とし0.68倍と報告したが、正しい数値は1.17倍だった。 今後は、提出前に徹底した確認を行い、正確な報告書作成に努める。	該当なし
設置計画履行状況調査時 (●●年2月)		〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<健康栄養学部 管理栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
 比治山大学評価委員会
 比治山大学点検・評価規程（添付）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 平成27年度の開催状況は、以下の通りである。
 第一回 平成27年 6月11日（参加率95%）
 第二回 平成27年10月28日（参加率78%）
 （なお、委員会開催前に大学部会を開催しており、平成27年4月3日（参加率100%）、10月27日（参加率78%）、平成28年2月17日（参加率78%）に開催した。また、認評価のためのワーキングを平成26年12月～平成27年10月までに15回開催した。）

c 委員会の審議事項等
 年度事業計画、自己点検・評価方針及びスケジュール、授業評価アンケートの実施内容、教員研修の内容等について審議している。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 学生による授業に関するアンケート調査
- ・ 共通教育に関するアンケート調査
- ・ 新入生対象アンケート調査
- ・ 卒業生対象アンケート調査
- ・ 新任教員のための研修会
- ・ 全学教員研修会
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 授業改善学生モニターグループの設置

b 実施方法

学生による授業に関するアンケート調査

評価委員会を企画・運営組織として、前期末及び後期末に全授業科目(受講学生10名以下及び学外実習系科目等は除く)について、アンケート調査(授業評価)を実施している。結果は、各教員にフィードバックし、結果について改善点等についてのコメントを記載し、毎年ホームページへ掲載している。

共通教育に関するアンケート調査

共通教育科目について、評価委員会を企画・運営組織として、受講学生全員を対象として毎年1月に実施している。結果は、報告書としてまとめ、全教員に配付し、改善点を抽出することによって、共通教育の授業改善を行っている。

新入生対象アンケート調査

評価委員会を企画・運営組織として、新入生を対象として、志望理由、学生生活への要望、進路調査を実施している。結果は、報告書にまとめ、学生支援に活用している。毎年4月に実施している。

卒業生対象アンケート調査

評価委員会を企画・運営組織として、卒業年次学生全員を対象として、授業、学生支援、福利厚生施設等に対する満足度等を把握するための調査を実施している。結果は、報告書にまとめ、全教員に配付している。毎年1月に実施している。

新任教員のための研修会

毎年4月に新任教員研修会を開催している。企画・運営は、事務局が担当し、学長による建学の精神・理念、教育方針、中期総合プランの説明、学部長による学部の概要、現状と課題の説明等を半日で実施している。

全学教員研修会

評価委員会を企画・運営組織として、毎年9月、3月に開催している。昨年度9月は、「職場のメンタルヘルス」をテーマとした外部講師による講演会、「大学教育再生加速プログラム(AP)」について報告を行った。3月は、「学修科学の知見を活かした学びの支援」「知的財産権について 著作物の引用と盗用」をテーマとした外部講師による講演会、大学教育再生加速プログラム(AP)のセミナー及び事業活動報告等を行った。

教員相互の授業参観

授業公開に関する申し合わせを作成し、参観できる授業科目を選定し、学科教員相互の授業参観を行っている。

授業改善学生モニターグループの設置

各学科から授業改善学生モニターを募集し、アンケート調査とは別に、直接、学生から授業のみならず、修学環境、学生支援体制等に関する意見・要望を聴取し、教職員の資質の維持・向上に活かしている。副学長が学生グループの窓口となり、年2回(7月、2月)、学長、副学長、学部長、短大部長、事務局長、学長室長、学生支援室長が学生グループからの意見等を直接聴取している。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

新任教員のための研修会

全新任教員を対象に毎年4月に開催しており、内容は、学長による建学の精神・理念、大学の沿革、教育方針、中期総合プランの説明、学部長・短大部長による学部・学科の概要や現状と課題等の説明を行っている。

全学教員研修会

評価委員会が企画・運営組織となり、毎年、9月と3月に大学・短期大学部教員全員参加で実施している。平成27年度は、9月2日(参加率82%)、平成28年3月2日・3日(2日間の平均参加率74%)に実施している。また、いずれにおいても、職員のSDを兼ねたプログラムを設定し、このプログラムには職員も参加している。

授業改善学生モニターグループとの意見交換会

授業改善学生モニターグループの授業に対する意見や要望等を聴取するために、学長、副学長、学部長、短大部長、事務局長、学生支援室長、学長室長との意見交換会を、平成27年7月29日(参加学生19名)、平成27年2月10日(参加学生17名)に実施した。なお、学生からの意見・要望等は、9月及び3月に開催した全学教員研修会に報告した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価結果は、直接、教員それぞれにフィードバックし、授業方法や内容等の改善・充実に活用し、全学教員研修会等において、教員の資質の維持・向上のための取組みを継続的に行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期末(7月)及び後期末(1月)に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

大学ホームページ上に公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成28年6月16日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(平成28年6月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

平成27年度に認証評価機関(公益財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受け、平成28年3月8日付で、「本評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定された。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成28年5月20日)

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

①実施体制 a 委員会の設置状況

比治山大学点検・評価規程

(趣旨)

第1条 この規程は、比治山大学（以下「大学」という。）、比治山大学大学院（以下「大学院」という。）及び比治山大学短期大学部（以下「短期大学部」という。）（以下「本学」と総称する。）の各学則の規定に基づき、本学における教育研究、組織、運営、施設設備（以下「教育研究活動等」という。）について行う自己点検・評価（以下「自己評価等」という。）、学校教育法第109条第2項の規定に基づく認証評価機関による評価（以下「認証評価」という。）及び相互評価等の外部評価（以下「外部評価」という。）に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 自己評価等、認証評価及び外部評価（以下「大学評価」という。）は、本学の教育研究水準の向上を図り、教育目的及び社会的使命を達成するとともに、運営全般の改善・改革に活用し、本学の発展に資することを目的とする。

(大学評価の基本方針)

第3条 大学評価に当たっては、本学における教育研究活動等の状況について積極的に点検・評価し、常に現状を正確に把握・認識することにより、取り組むべき課題等を明らかにすることに努めるものとする。

2 自己評価等は、毎年度実施することとし、その評価項目は別表に定める評価基準の中から、学長が別に定める。

3 認証評価は、7年以内ごとに1回受けることとし、その実施年度、評価機関の選定、その他評価に係る基本的事項は、学長が別に定める。

4 外部評価の実施年度、評価機関の選定、その他評価に係る基本的事項は、学長が別に定める。

(本部)

第4条 前条の基本方針の企画立案、報告書の検証及び公表、その他大学評価に関する重

要な事項については、比治山大学運営戦略本部（以下「本部」という。）が総括し、調整等を行う。

（評価委員会）

第5条 本学の教育研究活動等について自己評価等を行うため、比治山大学評価委員会（以下「評価委員会」という。）を置く。

2 評価委員会は、次の各号に掲げる事項について、審議し、実施する。

- (1) 第3条第2項の基本方針をもとに、自己評価等に係る業務を統括し、自己点検・評価報告書（この規程において「報告書」という。）案を作成し、本部に提出すること。
- (2) 教育研究等の改善を図るため、学生による授業等評価及び教職員研修を企画立案し、実施すること。
- (3) その他大学評価に関し、学長が必要と認める事項を処理すること。

3 評価委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- (1) 委員長
- (2) 副委員長（大学及び短期大学部各1名並びに大学事務局長）
- (3) 学部長が指名する者6名
- (4) 研究科長が指名する者2名
- (5) 短大部長が指名する者3名
- (6) 大学事務局長が指名する者1名
- (7) 法人事務局長が指名する者1名
- (8) その他学長が必要と認めた者

4 委員長は、副学長をもって充てる。

5 副委員長及び委員は、学長が任命する。

6 副委員長及び委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員になったときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

7 委員長は、報告書案を取りまとめるため、必要に応じて、第3項の委員のうちから、編集主任を指名することができる。

（部会）

第6条 評価委員会に、大学部会（大学院を含む。）、短大部会及び事務部会（法人事務局を含む。）を置き、報告書原案の作成その他評価委員会が指示する事務を処理させる。

2 部会に部会長を置き、それぞれ前条第3項第2号の副委員長をもって充てる。

3 部会に関し必要な事項は、評価委員会が別に定める。

(報告書の公表)

第7条 学長は、第5条第2項の規定による報告書の提出があったときは、本部において
検証し、広く学内外に公表するものとする。

(事務)

第8条 大学評価についての事務は、学長室において処理する。

(細則)

第9条 この規程に定めるもののほか、大学評価に関し必要な事項は、別に定める。

附 則 (平成16年3月25日制定)

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 「比治山大学自己点検・評価規程(平成12年4月1日施行)」及び「比治山大学短期
大学部自己点検・評価規程(平成12年4月1日施行)」は、この規程の施行期日をもつ
て廃止する。
- 3 第6条第5項の規定にかかわらず、委員のうち、半数の委員の任期は、平成17年3
月31日までとし、その委員は、学長が別に定める。

附 則 (平成18年3月28日改正)

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年1月22日改正)

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年12月18日改正)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年2月7日改正)

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年3月28日改正)

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年5月28日改正)

この規程は、平成26年5月28日から施行する。

附 則 (平成27年2月10日改正)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

別表（第3条関係）

自己点検・評価の評価基準（大学・大学院）

- 1 使命・目的等
- 2 学修と教授
- 3 経営・管理と財務
- 4 自己点検・評価
- 5 使命・目的に基づく大学独自の基準設定と自己点検・評価

自己点検・評価項目の評価基準（短期大学部）

- 1 建学の精神と教育の効果
- 2 教育課程と学生支援
- 3 教育資源と財的資源
- 4 リーダーシップとガバナンス
- 5 選択的評価基準

(3) 自己点検・評価等に関する事項

①設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

ア 設置の趣旨及び必要性

少子高齢化が急速に進む中、栄養科学に立脚し、広い視野と豊かな人間性をもって、社会に貢献できる優れた栄養士・管理栄養士養成を目的として設置するものであり、趣旨及び必要性については、計画書の変更はなく、ホームページ及び大学案内等に明示している。

ウ 学部、学科等の特色

①医療、福祉、介護等の現場で栄養ケア・マネジメントに強い管理栄養士、②保健、保育、教育等の現場で、なかでも子どもの栄養マネジメントにも強い管理栄養士・栄養教諭、③男女共同参画社会の実現に貢献できる管理栄養士、④生涯にわたって主体的な学びを継続できる管理栄養士としており、計画どおりに履行している。

なお、設置認可申請における留意事項に基づいて、「男女共同参画社会の実現」に貢献できる管理栄養士への考え方については、対外的に誤解を与えないように、今後とも広報活動に留意するとともに「男女共同参画社会の実現」について理解を深めていく。

エ 学部、学科等の名称及び学位の名称

学科名称は、健康栄養学部管理栄養学科、学位名称は学士（栄養学）であり、学則に明記するなど、いずれも計画どおりに履行している。

オ 教育課程編成の考え方及び特色

教育課程は、共通教育科目と専門教育科目から編成し、共通教育科目は、「比治山ベーシック科目」、「教養科目」からなり、専門教育科目は「導入分野」、「専門基礎分野」、「専門分野」、「専門発展分野」からなり、学則及び学生便覧に記載するなど、計画どおりに履行している。

カ 教員組織の編成の考え方及び特色

計画の変更はない。開設年次(平成 26 年度)には、8 名の専任教員(教授 5 名、准教授 2 名、講師 1 名)を配置、平成 27 年度からは 2 名(教授 2 名)、平成 28 年度からは 1 名(講師)の専任教員を配置した。辞任した 1 名(准教授)の教員の後任として、平成 27 年 7 月の AC 教員審査を受け、平成 28 年度から新たに 1 名(准教授)を採用し、設置時の計画どおり 11 名の専任教員を配置した。

キ 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

開講科目や成績評価、卒業要件等は学則及び学生便覧に明記し、チューター制による履修指導を行っている。

ク 施設、設備等の整備計画

施設については、管理栄養学科の設置に合わせて 5 階建の新教育棟を建設した(平成 26 年 3 月に竣工)。図書等の資料及び図書館の整備については、開設年度前に計画した図書 8052 冊、視聴覚資料 12 冊の購入時に値引きがあり、教育内容の充実のために図書 45 冊、視聴覚資料 1 冊を追加購入した。平成 26 年度は、120 冊の購入予定であったが、購入時に値引きがあり、教育内容の充実のため、図書 33 冊を追加購入した。また、図書館内にラーニングコモンズを設置したため座席数が減少した。平成 27 年度は 120 冊の購入予定であったが、購入時に値引きがあり、教育内容の充実のため、図書 23 冊を追加購入した。

ケ 入学者選抜の概要

平成 25 年度に実施した入学者選抜は計 54 名、平成 26 年度に実施した入学選抜は計 78 名、平成 27 年度に実施した入学選抜は計 74 名の入学者があった。

コ 資格取得

取得可能な資格は、管理栄養士国家試験受験資格、栄養士免許、栄養教諭一種免許であり、計画どおり、これらの資格が取得できる教育課程を編成している。

サ 実習の具体的計画

設置時の予定どおり平成 28 年度 3 年次の給食経営管理臨地実習 I（給食の運営）の実習計画は策定済みで、7 月～11 月に実習することになっている。平成 29 年度の臨地実習、栄養教育実習の実習計画については、現在実習先を調整中である

なお、学外実習の円滑な実施に向けた準備に加え、管理栄養士養成対策を積極的に推進する上で、幅広い活動が必要と考え、当初、平成 27 年度設置予定であった「健康栄養学部管理栄養学科学外実習運営委員会」を、平成 27 年 3 月 27 日に「比治山大学管理栄養士指導センター規程」を制定の上「管理栄養士指導センターの臨地実習部会」に改め、臨地実習の円滑な実施に向けた企画・運営を行っている。

栄養教諭については、大学全体の教職課程の一環として、教職指導センターが所掌し、栄養教育実習の円滑な実施に向けた企画・運営を行っている。

セ 編入学定員の設定、その他具体的計画

計画どおり実施し、平成 28 年度の編入生を受け入れた。

テ 管理運営

平成 26 年 6 月に公布された「学校教育法及び国立大学法人法の一部改正する法律」の趣旨に則り、本学の学則及び関連規程の改正を行った。平成 27 年度からは、新学則及び新規程に則り、管理運営を行っている。

ト 自己点検・評価

計画どおり、評価委員会を企画・運営組織として、自己点検・評価活動を行っている。なお、認証評価機関「財団法人日本高等教育評価機構」による認証評価は、全ての基準において同機構が定める大学評価基準を満たしていると、認定された（平成 21 年 3 月 24 日）。第 2 期の「公益社団法人日本高等教育評価機構」による認証評価は平成 27 年度に受審し、評価機構が定める評価基準に適合していると認定された（平成 28 年 3 月 8 日）。なお、自己点検・評価については平成 21 年度からホームページに掲載している。

ナ 情報の公表

趣意書に記載したとおりの情報提供を行っている。なお、認可申請書（「設置の趣旨及び必要性」を記載した書類）については、平成 25 年 11 月 15 日にホームページに掲載した。

ニ 授業内容方法の改善を図るための組織的な取組

趣意書に記載したとおり実施している。なお、毎年 4 月に新入生対象アンケート調査を実施し、志望理由、学生生活への要望、進路調査等を実施している。結果は、報告書にまとめ、学生支援に活用することとしている。

ヌ 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

趣意書に記載したとおり実施している。